

木更津高専文芸コンクール「第1回きみさらず文芸賞」において、情報工学科1年の橋本沙羅さんが大賞を、また電子制御工学科1年の榎原麻由さん、同学科1年野村飛来君が優秀賞を受賞しました。

2015年2月27日

本校主催、「第1回きみさらず文芸賞」の表彰式が2月27日に本校校長室において行われ、情報工学科1年の橋本沙羅さん『役人と提灯——続羅生門』（小説）が本年度の大賞に、また電子制御工学科1年の榎原麻由さんの『二十歳の原点』（読書感想文）、同学科1年野村飛来君の『鑑定屋』（小説）が優秀賞に選ばれたほか、佳作も合わせて計8名が受賞しました。「きみさらず文芸賞」は本校の教育理念である「人間形成」の一貫として、今年度より新しく設けられた文芸賞です。なかでも大賞に輝いた『役人と提灯——続羅生門』は、芥川龍之介の『羅生門』の続編を描いたもので、原作の物語世界を引き継ぎつつ、語り手や視点人物を大胆に読みかえて物語を展開させた点が高く評価されました。本年は予想以上の応募作品が集まり、各部門を通じて質の高い作品が多かったなかでの受賞となりました。

#### 写真キャプション

「表彰式の様子（本校校長室にて）」

